

東京都写真美術館 2階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

2021.11.9火—2022.1.23日

開館時間:10:00-18:00 ※入館は閉館の30分前まで 休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合開館)、翌平日休館)、年末年始(12/28-1/4、ただし12、13は臨時開館) 観覧料:一般700円/学生560円/中高生・65歳以上360円
小学生以下・都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名様まで)は無料、1月2日(日)、3日(月)は無料、開館記念日のため1月21日(金)は無料、本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします
事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。主催:東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

松江泰治 マキエタCC
MATSUE TAJI: makietacc

TOP MUSEUM

松江泰治 マキエタCC

MATSUE TAIJI: makietaCC

松江泰治(1963年、東京都生まれ)は世界各地の地表を独自の視点で写してきました。作家が撮影時に設けた、画面に地平線や空を含めない、被写体に影が生じない順光で撮影するといったルールは、写真の本質を問い直すような平面性を生み出しています。本展では、作家がこれまでに制作してきた作品の中から、〈CC〉と〈makieta〉という二つのシリーズを、初公開となる新作も交えて紹介します。

2001年から制作されている〈CC〉は、「シティー・コード」(City Code)を略したシリーズ名の通り、各作品のタイトルには撮影地の都市コードが付されています。ギリシャのアテネから撮影が始まったこのシリーズでは、作家が訪れた世界各地の都市の諸相が克明に写し出されています。画面全体にピントを合わせることで、奥行きが取り除かれ、画面上にあらゆるものが等しく存在しています。一方、2007年から制作されている〈makieta〉の作品にも、都市コードや地名が付されています。「makieta」(マキエタ)とはポーランド語で模型を意味し、実際の都市や自然を撮影した他の作品と同じルールで、世界各地の都市や地形の模型が写されています。エクアドル・キトの博物館に展示されていた模型を起点に、レンズを通して模型から立ち現れる風景には、現実と見紛うほどの精巧さがあり、その曖昧な境界は写真の本質を浮き彫りにします。

ミッドキャリアでの個展となる本展では、最新作を含む二つのシリーズを通して作家の現在地を示すとともに、その表現の可能性を探ります。

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



表.《TYO 90835》2021年 発色現像方式印画 作家蔵 1.《PAR 32319》2008年 発色現像方式印画 アマナコレクション
2.《LPB 1733》2021年 発色現像方式印画 作家蔵 3.《DENMARK 17939》2012年 発色現像方式印画 東京都写真美術館蔵
4.《SYD 20119》2012年 発色現像方式印画 東京都写真美術館蔵 5.《WAW 62222》2021年 発色現像方式印画 作家蔵
6.《Guatemala 1904》2021年 発色現像方式印画 作家蔵 図版すべて©TAIJI MATSUE Courtesy of TARO NASU

※事業は諸般の事情により変更することがございます。
最新情報は当館ホームページでご確認ください。



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita Meguro-ku Tokyo 153-0062
TEL 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033 www.topmuseum.jp

JR恵比寿駅より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
当館には専用の駐車場はございません。お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。